

2016年7月21日
日興アセットマネジメント株式会社

**「グローバル・ロボティクス株式ファンド
(1年決算型)/(年2回決算型)」
2016年7月決算と今後の見通しについて**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご愛顧いただいております「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」は、2016年7月20日に決算を行ないました。当期の分配金について、下記のとおりいたしましたので、ご報告いたします。

次ページ以降では、当ファンドの運用実績や今後の見通しなどについて、当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社であるラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー（以下、ラザード社）からのコメントをもとにご紹介しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも、当ファンドをご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

分配実績と基準価額について

	1年決算型	年2回決算型
当期(2016年7月)の 分配金	0円	0円
前期の分配金	- ※1年決算型は年1回(7月)決算です。	0円 (2016年1月)
設定来の分配金合計 2016年7月20日現在	0円	0円
基準価額 (税引前分配金控除後) 2016年7月20日現在	9,893円	9,894円

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の1万口当たりの値です。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

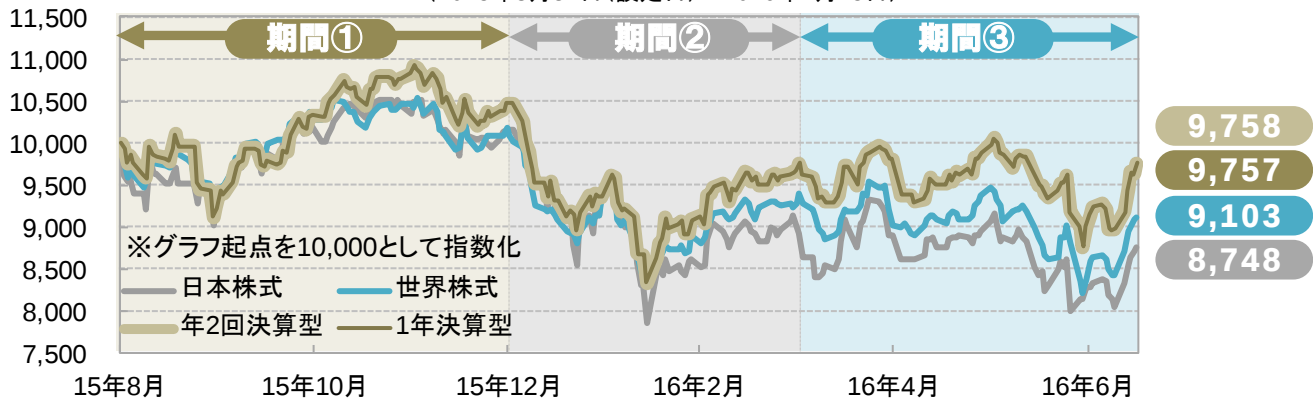
設定来のパフォーマンスについて

- 当ファンドの設定来のパフォーマンスは、世界株式の下落や円高の進行の影響を受けて軟調に推移したものの、世界株式や日本株式と比べて底堅く推移しています。これは、ロボティクス関連業界への成長期待に加え、徹底したボトムアップリサーチに基づいて選別投資してきたことなどが理由と考えられます。

当ファンドの基準価額は相対的に底堅く推移

基準価額と主要株式指数(配当込)の推移

(2015年8月31日(設定日)～2016年7月15日)



期間①

(15年8月31日～
15年12月末)

<騰落率の比較>

当ファンド	世界株式	日本株式
4.8%	0.8%	1.6%

当ファンドの設定時は、中国景気の減速懸念などを受けて、世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まっており、これらの不透明要素の払拭には時間がかかると見込まれたことから、財務内容や業界内のポジションなどに優位性を持つハイクオリティ企業を中心にポートフォリオを構築しました。また、2015年末にかけては、業績の減速が見込まれた景気敏感銘柄のウェイトを引き下げました。同期間では好業績が評価されたITやヘルスケア関連銘柄などが好調に推移し、相対的に良好なパフォーマンスとなりました。

期間②

(16年1月初～
16年3月末)

<騰落率の比較>

当ファンド	世界株式	日本株式
▲6.8%	▲6.9%	▲12.0%

当ファンドのパフォーマンスは、2016年初に世界的な株価下落につられる形で悪化したものの、その後の反発局面で、健闘しました。同期間では円高の進行によるマイナス影響はあったものの、海外のFA(ファクトリーオートメーション)関連銘柄や、独自の技術を有し自律的な成長が期待されるヘルスケア関連銘柄などが好調に推移し、下落幅は相対的に抑制できました。この期間も、値動きの激しい展開が見込まれたことから、ハイクオリティ企業中心のポートフォリオを維持しました。

期間③

(16年4月初～
16年7月15日)

<騰落率の比較>

当ファンド	世界株式	日本株式
▲0.0%	▲3.0%	▲2.1%

当ファンドのパフォーマンスは、5月末にかけて概ね堅調に推移したものの、6月23日の英国国民投票でEU離脱派が勝利したことを受けて、世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まり株安・円高が進行したことなどから、軟調な推移となりました。しかしその後、米国の6月の雇用統計において、雇用者数の伸びが市場予想を大幅に上回ったことなどから、市場は徐々に落ち着きを取り戻しました。同期間においても、ハイクオリティ企業を中心にポートフォリオを構築していたことが奏功し、相対的に堅調に推移しました。

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

世界株式:MSCI Worldインデックス(円換算ベース)、日本株式:TOPIX(東証株価指数)

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、日興アセットマネジメントが「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」のマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手したデータなどを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

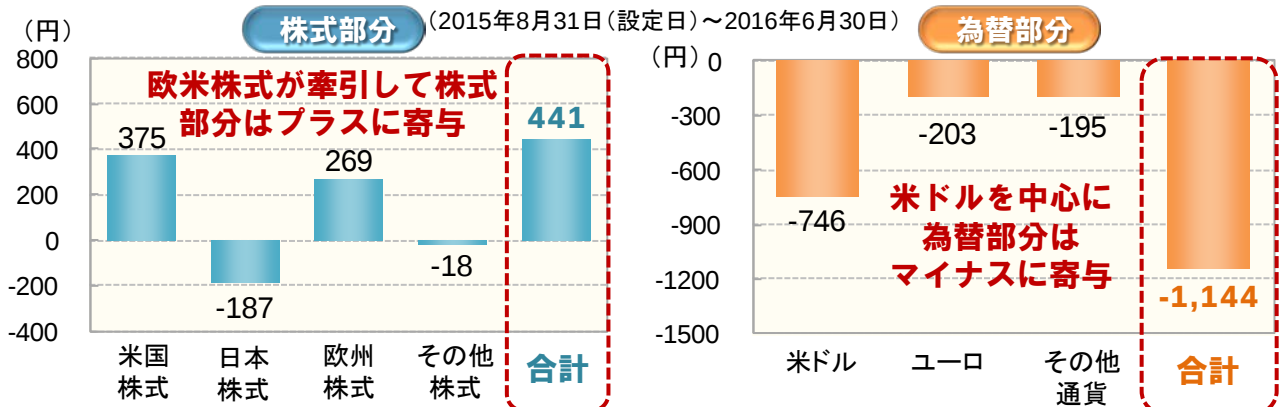
当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

設定来の基準価額変動の要因分解について

- 設定から2016年6月末までの基準価額変動の要因分解をみると、株式部分の上昇が基準価額を押し上げたものの、円高が重しとなり、基準価額は下落しました。
- 株式部分については、ボトムアップリサーチによる銘柄選択が奏功したことなどから、プラスに寄与しました。国・地域別では、日本株式が、円高の進行による企業業績の下振れリスクなどから下落したものの、米国や欧州株式は概ね堅調に推移しました。
- 為替部分については、中国の景気減速懸念や英国民投票でEU離脱派が勝利したことなどをを受けて、世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まり、円高基調となったことからマイナスに寄与しました。特に米ドルに関しては、米国の利上げペースがより緩やかになるとの観測が拡がり、下落幅が大きくなりました。

株式部分が基準価額を押し上げたものの、為替部分はマイナスに寄与

基準価額変動の要因分解(1年決算型)



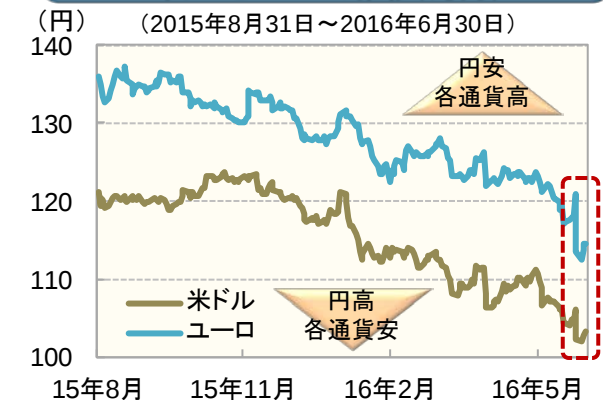
※その他に、信託報酬やその他にかかるマイナス要因(155円)があります。

※上記の要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。また、四捨五入の関係で合計が一致しないことがあります。その他には計算誤差などを含みます。

英国民投票におけるEU離脱派勝利を受けて大幅に円高が進行

- ✓ 当ファンド設定以降の為替市場は、世界的な投資家のリスク回避姿勢の強まりなどから、円高基調となっています。
- ✓ 6月下旬には英国民投票でEU離脱が支持され、安全資産とされる円に買いが集まり、大幅に円高が進行しました。
- ✓ 今後についても、英国のEU離脱交渉などの不透明要素がすぐに払拭されるとは考えにくく、神経質な展開が継続するものとみられます。

米ドルとユーロの推移(対円)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、日興アセットマネジメントが「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」のマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手したデータなどを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

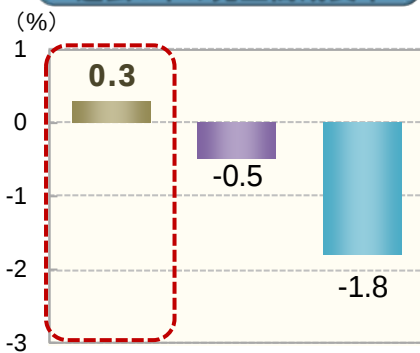
当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

足元のポートフォリオについて(2016年6月末)

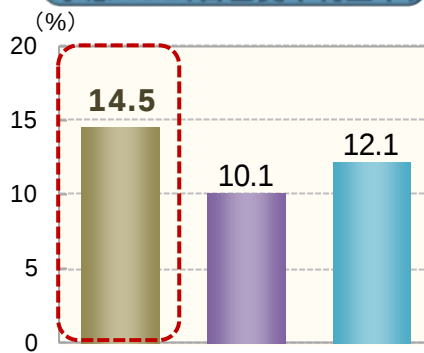
- ラザード社では、ロボティクス活用という長期にわたる流れにおいては、売上成長がより重要と考えています。当ファンドでは、売上高を着実に増やしていけるような企業に着目してポートフォリオを構築しています。
- また、英国のEU離脱交渉などの不透明要素がすぐに払拭されるとは考えにくいと、企業のクオリティ(財務健全性や収益性)が懸念される銘柄への投資は控えています。これらを考慮した中で、バリュエーションに留意し、かつ成長が期待できる銘柄に選別投資を行なっています。

売上高成長や財務健全性などに着目し、ポートフォリオを構築

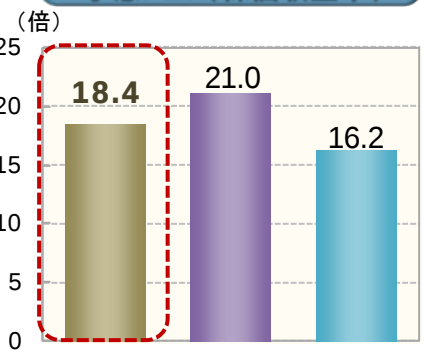
過去1年の売上高成長率



予想ROE(自己資本利益率)



予想PER(株価収益率)



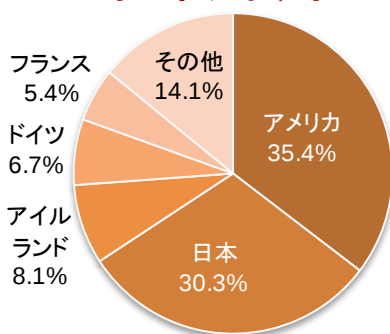
■当ファンド ■ロボティクス関連企業 ■世界株式

当ファンド: グローバル・ロボティクス株式マザーファンド、ロボティクス関連企業: ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数、世界株式: MSCI Worldインデックス(売上高成長率のみ除く金融)

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

国別比率

日米欧に分散されたポートフォリオ



組入上位10銘柄(組入銘柄数: 42銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	キーエンス	日本	情報技術	6.9%
2	ロックウェル・オートメーション	アメリカ	資本財・サービス	5.4%
3	ハネウェル・インターナショナル	アメリカ	資本財・サービス	5.2%
4	ファナック	日本	資本財・サービス	4.6%
5	アルファベット	アメリカ	情報技術	4.5%
6	インテューイティブ・サージカル	アメリカ	ヘルスケア	4.1%
7	アッサ・アブロイ	スウェーデン	資本財・サービス	3.7%
8	A B B	スイス	資本財・サービス	3.6%
9	タイコ・インターナショナル	アイルランド	資本財・サービス	3.6%
10	サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	アメリカ	ヘルスケア	3.1%

※「国別比率」と「組入上位10銘柄」の数値はグローバル・ロボティクス株式マザーファンドの状況で、組入株式時価総額比です。「国別比率」は四捨五入しており合計が100%とならない場合があります。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものではありません。

上記は、日興アセットマネジメントが「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」のマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手したデータなどを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ラザード社との一問一答①



チャーズ・ガイザー
ポートフォリオマネージャー/アナリスト

基準価額の動向や注目するテーマについて
当ファンドのポートフォリオマネージャーである
チャーズ・ガイザー氏に聞いてきました。

Q1 世界株式や日本株式と比べ、底堅いパフォーマンスを 獲得できた要因について教えてください。

ロボティクス関連業界の成長性と、ボトム
アップリサーチによる銘柄選定が奏功した
と考えます。

✓当ファンドの底堅いパフォーマンスの要因としては、
ロボティクス関連業界の中長期的な成長性が評価さ
れた点があると考えます。当ファンドの設定以降、グ
ローバルで様々なイベントが生じ、株式相場は値動
きの大きな展開となりました。また、世界的に低成
長・低金利が継続し、有望な投資対象が見つけない
なか、多くの企業や各国政府の次の成長ドライ
バーとして期待が集まる、ロボティクス関連業界の
成長性が評価されたと考えられます。

✓また、ボトムアップリサーチによる銘柄選定が奏功し
ました。多様化が見込まれるロボティクス関連業界
において、セクター横断的な情報・投資アイデアの
共有を日々行ない、有望な銘柄を選定しています。

✓さらに、軟調な相場展開のなかで、業績が外部環境
に左右されにくく、自律的な成長が可能な独自の技
術を有する銘柄に着目したことが、パフォーマンスに
貢献しました。加えて、財務内容や業界内のポジシ
ョンなどに優位性を持つハイクオリティ企業に重点
を置いた点も奏功しました。

当ファンドのパフォーマンスを支えた要因

ロボティクス関連業界 の成長性

次の成長ドライバーと
して期待が集まる
ロボティクス関連業界
の成長性が評価

ボトムアップリサーチ による銘柄選定

ラザード社の
強みである
銘柄調査力を活かし、
有望な銘柄を選定

自律的な
成長が可能な
独自の
技術を有する
銘柄

財務内容や
業界内の
ポジション
などに
優位性を
持つ銘柄

**世界株式や日本株式と比べ、
底堅いパフォーマンスに**

※上記はイメージ図です。

上記は、日興アセットマネジメントが「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」のマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手したデータなどを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ラザード社との一問一答②

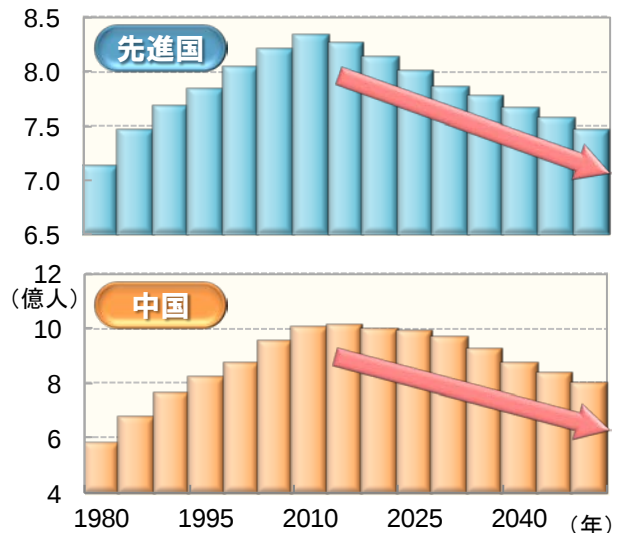
Q2 不透明感の強い環境が続いていますが、ロボティクス関連業界の成長は今後続くのでしょうか。

景気動向に関わらず人手不足は深刻化することが見込まれ、ロボティクスの成長トレンドに変化はないとみています。

- ✓先進国や中国における生産年齢人口(15～64才)は既に減少に転じています。労働力不足の進展という中長期の構造変化は、景気動向に関わらず、ますます深刻化していくと考えられます。
- ✓したがって、ロボティクスを活用した生産性向上ニーズは今後も高まり、多少の景気変動があったとしても、ロボティクス関連業界の安定的な成長トレンドに変化はないとみています。
- ✓引き続き当ファンドでは、ラザード社の強みであるボトムアップリサーチによる銘柄選択力を活かし、ロボティクス関連業界で高い成長が見込まれる企業に注目していく方針です。なお、当面は不安定な投資環境が続くと見込まれることから、財務内容や業界内のポジションなどに優位性を持つ企業にも重点を置いて運用を行なう方針です。

生産年齢人口(15～64才の人口)の推移

(億人) (1980年～2050年(予想))



出所: World Population Prospects: The 2015 Revision
※2015年以降は予想値です。

<ご参考>

市場では、ロボティクス関連企業の業績見通しは依然として良好と予想されています。

- ✓足元では英国のEU離脱派勝利などを受け、不透明感が台頭しているものの、市場では、ロボティクス関連企業の業績見通しは依然として良好と予想されています。

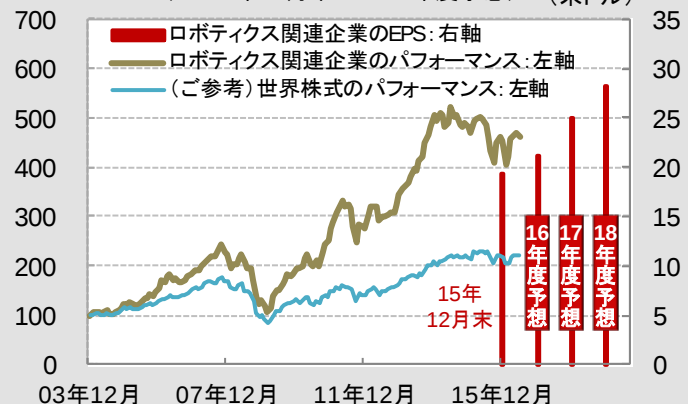
ロボティクス関連企業: ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数、世界株式: MSCI Worldインデックス

※各パフォーマンスは配当込、米ドルベースで2016年6月末まで、グラフ起点を100として指数化

※16、17、18年度のEPSの予想値は2016年7月現在の市場予想です。信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

パフォーマンスとEPSの推移

(2003年12月末～2018年度予想) (米ドル)



上記は、日興アセットマネジメントが「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」のマザーファンドの投資顧問会社であるラザード社からのコメントと、当社が入手したデータなどを基に作成したものです。当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくは今後の運用方針等について、運用担当者の方見方あるいは考え方などを記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、運用方針は変更される場合があります。

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ラザード社との一問一答③

Q3

ロボティクス関連業界の株式に投資するにあたって、注目しているテーマなどについて教えてください。

「FA関連」「生活産業インフラ関連」「ヘルスケア関連」「AI/自動運転車関連」などのロボティクス関連企業に注目しています。

FA関連



- ✓世界的な労働力不足の進展から、ロボティクスを活用した生産性向上ニーズが今後も高まると考え、FA関連に注目しています。
- ✓6月末時点の組入銘柄では、「**キーエンス**」(日本)を上位に組み入れています。同社はセンサーを「単品売り」するのではなく、顧客への「コンサルティングサービス」を併せて提供することで付加価値を創出しており、業績が外部環境に左右されにくく、自律的な成長が期待されます。
- ✓「**ロックウェル・オートメーション**」(米国)は、経済環境が堅調な米国を中心に、幅広い地域・業種の顧客を有していることから、自動化進展の恩恵を幅広く受ける収益構造となっている点に注目しています。「**ファナック**」(日本)は、世界最大級の産業ロボットメーカーとして、「自動化投資」という構造成長の恩恵が期待できることに加え、中国をはじめ新興国における工作機械の高性能化の恩恵を享受することが期待されます。「**ABB**」(スイス)は、従来の産業用ロボットのみならず、人との協働ロボット(コボット)も展開しており、これまでロボットによる自動化が困難であった領域でのオートメーション化の進展が期待されます。

生活産業インフラ関連



- ✓エネルギー・マネジメントやセキュリティに対する世界的な意識の高まりを受けて、生活産業インフラ関連に注目しています。
- ✓6月末時点のポートフォリオでは、住宅・ビル向けの空調・照明オートメーション事業を主力とする「**ハネウェル・インターナショナル**」(米国)を上位に組み入れています。既に世界中で設置されている同社の設備を活かして、エネルギー・マネジメント分野で成長することが期待されます。
- ✓世界最大級のエントランス・セキュリティ企業である「**アッサ・アブロイ**」(スウェーデン)は、一般的なドア錠から、デジタルキーなどの最先端のエントランス・オートメーションを提供しており、セキュリティ関連分野での成長が期待されます。火災探知・ホームセキュリティの大手「**タイコ・インターナショナル**」(米国)は、火災報知器や防犯機器からのデータ解析に力を入れることで新しいサービス創出に挑戦しています。IoTの進展に伴ない、ビル&ホーム・オートメーション分野での成長が期待されます。

(次ページに続きます)

上記は、情報提供を目的として2016年6月末時点の注目しているテーマ、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。上記テーマ・銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

ラザード社との一問一答④

(前ページより続きます)

ヘルスケア 関連



- ✓日本をはじめとする先進国のみならず中国でも、寿命の長期化に伴ない、高齢化が進展していることなどから、ヘルスケア関連に注目しています。
- ✓6月末時点のポートフォリオでは、「**インテューイティブ・サージカル**」(米国)を上位に組み入れています。同社の外科手術用ロボット「da Vinci」は、傷口が小さく、患者の負担が少ない低侵襲手術を支援しています。今後、手術ロボットの①導入地域の拡がり(現状は7割近くが米国)と、②保険適用される手術領域の拡大、が成長ドライバーとなり、業績が外部環境に左右されにくく、自律的な成長が期待されます。
- ✓研究機関や医薬品メーカー向けに実験装置、試薬、LA(ラボラトリーオートメーション)などを提供する総合科学サービス企業である「**サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック**」(米国)は、医薬研究の効率化という中長期的な流れや、LA拡大の恩恵を享受することが期待されます。

AI/自動 運転車関連

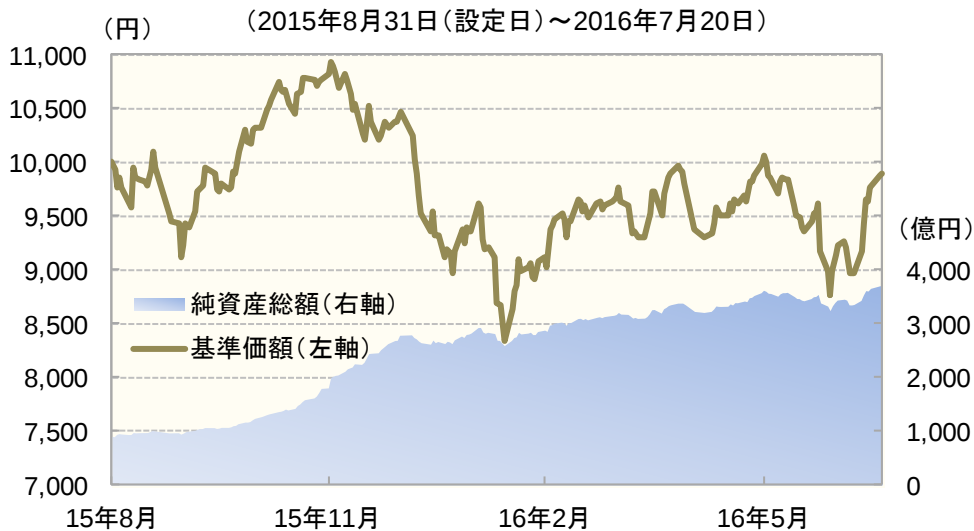


- ✓自動運転技術が着々と進歩しつつあることや、法制度の面からの自動運転システムの活用を認める動きが進行していることなどから、AI/自動運転車関連に注目しています。
- ✓6月末時点のポートフォリオでは、「**アルファベット**」(米国)を上位に組み入れています。同社は自動運転車をはじめ、AIなど多くのロボティクス関連事業に多額の先行投資を行っており、第4次産業革命での勝ち組となることが期待されます。

上記は、情報提供を目的として2016年6月末時点の注目しているテーマ、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、ラザード社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントが作成したものです。上記テーマ・銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、上記見解は過去のものであり、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

基準価額と純資産総額の推移

1年決算型



<分配金実績>

2016年7月

0円

<基準価額>

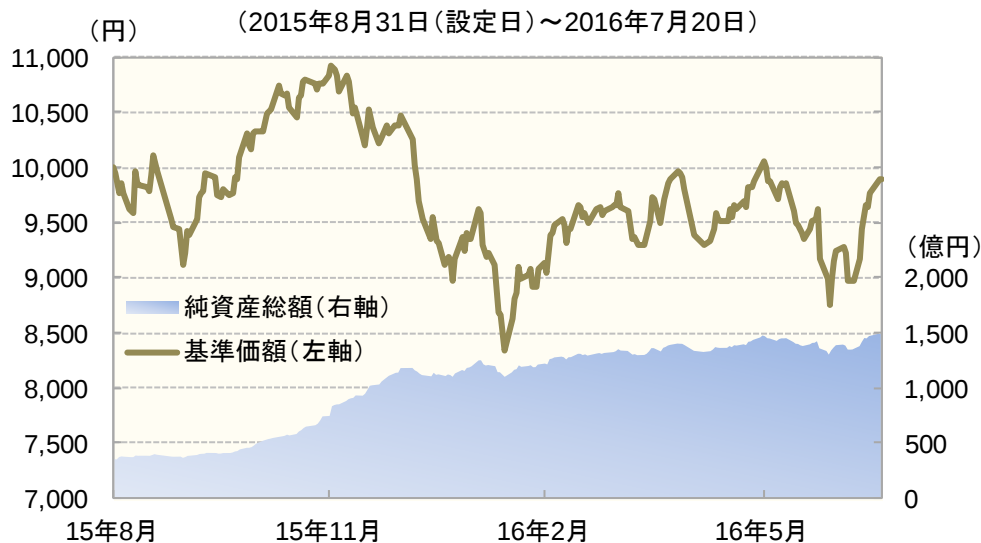
9,893円

<純資産総額>

3,693億円

(2016年7月20日現在)

年2回決算型



<分配金実績>

2016年1月

0円

2016年7月

0円

<基準価額>

9,894円

<純資産総額>

1,484億円

(2016年7月20日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様
に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】
【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

ファンドの特色

- 世界各国の株式の中から主にロボティクス関連企業の株式に投資を行ないます。
- 銘柄選定は、株式のアクティブ運用に注力するラザード社が、徹底した調査に基づき行ないます。
- (1年決算型) 年1回、決算を行ないます。
(年2回決算型) 年2回、決算を行ないます。
基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には、
分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。

※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

当資料は、投資者の皆様は「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)／(年2回決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2025年7月22日まで(2015年8月31日設定)
決算日	【1年決算型】毎年7月20日(休業日の場合は翌営業日) 【年2回決算型】毎年1月20日、7月20日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.78%(税抜3.5%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	純資産総額に対して年率1.9008%(税抜1.76%)を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料は、投資者の皆様には「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	ラザード・アセット・マネージメント・エルエルシー
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第6号	○	○		
株式会社愛知銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第12号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
SMBCフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第40号	○			○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第5号	○			
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○			
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長（登金）第1号	○			
株式会社香川銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第7号	○			
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第3号	○			
株式会社鹿児島銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第2号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○		○	
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第46号	○		○	
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第7号	○			
三条信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第244号				
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第3号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第170号	○			
城北信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第147号	○			
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第45号	○		○	
株式会社常陽銀行 （委託金融商品取引業者 常陽証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第45号	○		○	
常陽証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1771号	○			
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第16号	○			
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第128号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第20号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第39号	○		○	
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第7号	○			
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○			
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第10号	○			
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第11号	○			
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第1号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第7号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○			
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第19号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第15号	○			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○		○	
西日本シティＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○	○		
浜銀ＴＴ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○			
株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第3号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○			
フィブリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○			
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第48号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第167号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第20号	○			
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第11号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行 （委託金融商品取引業者 三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第10号	○			
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第185号	○			
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第41号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○			

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様にご「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)/(年2回決算型)」へのご理解を
高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、
当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第6号	○	○		
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第6号	○		○	
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第21号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○			
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○		○	
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第5号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○		○	
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第11号	○		○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第3号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第170号	○			
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第45号	○		○	
株式会社常陽銀行 （委託金融商品取引業者 常陽証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第45号	○		○	
常陽証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1771号	○			
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社第三銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第16号	○			
第四証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第128号	○			
株式会社大正銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第19号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第20号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第39号	○		○	
株式会社東京都市銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第37号	○		○	
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○			
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第11号	○			
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第1号	○			
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○			
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第15号	○			
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○		○	
西日本シティ T T 証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第21号	○	○		
浜銀 T T 証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○			
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○			
株式会社肥後銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第3号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
ひろぎんウツミ屋証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○			
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第48号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第167号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第20号	○			
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第11号	○			
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第11号	○			
株式会社三菱東京UFJ銀行 （委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第22号	○		○	
明和證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第185号	○			
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○			

(50音順、当資料作成日現在)